

令和5年

二十歳の集い

決意を胸に新たな時代へ



①



令和4年4月の民法改正により、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。

これに伴い、令和4年4月以降の安来市成人式は、「二十歳の集い」と名称を変更し、これまでと同様に20歳を対象として実施することになりました。

曇り空も式典開始にあわせ
るように晴れていった1月3
日、市総合文化ホールアルテ
ピアで、名称変更後初の開催
となる「令和5年安来市二十
歳の集い」が行われました。
式典前のアルテピア内外で
は、若者たちで大賑わい。懐
かしい顔ぶれとの久し振りの
再会を楽しむ声であふれてい
ました。
式典では、田中市長の式辞
や来賓からの祝辞が送られ、
参加者は真剣な表情で激励の
言葉を受け取っていました。
式典後半は、実行委員が企
画進行。笑いの絶えない和や
かなひとときとなりました。
未来へ歩む若者たち。その
門出を多くの人が祝福する式
典となりました。





令和5年の「二十歳の集い」

対象者≫平成14年4月2日～
平成15年4月1日生まれ
該当者≫362人（市内に住民票を有する者と市外在住で出席を希望した者）
出席者≫276人（76.2%）

①小学校区ごとに分かれて記念撮影。写真は、能義小学校・南小学校・宇賀荘小学校の皆さんです。②③④⑤友人と一緒にパシャリ。⑥安来節の唄に合わせて鼓を鳴らす陶山紗代さん。銭太鼓や国歌斉唱の伴奏などもしていただきました。⑦袴姿で決めポーズ。⑧家族とも記念撮影。⑨第2部のトップバッターとして、歌声を披露する原勇人さん。硬さが残っていた参加者の緊張をほぐしました。

二十歳の集い実行委員の皆さんへのインタビュー

Q1. 今回が名称変更後初めての二十歳の集い。実行委員となった心境は？

初めての二十歳の集いという事で、次回以降の本となるような次につながる式典にしたい、という気持ちは頭の片隅にありました。

ただ、名称が変わったことで今までと全く別のことをしないと、ということではなく、今まで成人式で実



▶リハーサルの実行委員の様子。リハーサルでは上手くいかない部分もありましたが、本番では大成功の仕上げとなりました。

行委員をしてこられた人たちと同じく、参加者が楽しんで思い出に残るようなものになりたいと思い企画・準備しました。

Q2. 第2部の企画はどのようにして決めましたか？

コロナ禍で気分も沈みがちになっていたので、みんなで盛り上げられるようクイズ大会等の内容を企画しました。特に、イントロクイズやサプライズでの先生の登場は初めての試みとなりました。

先生への出演依頼は、事前に式典の対象者へアンケートに答えてもらい、その結果を元に行いました。皆さんが学生時代を懐かしんでもらえるものになったのではないかと思います。



▶司会を務める実行委員の皆さん（上：第1部、下：第2部）。特に第2部は実行委員が中心となり企画進行を行いました。

山本勝馬実行委員長から二十歳の集い対象者の皆さんへ

（式典あいさつより一部抜粋）
皆さんは「不可能だ」「無理だ」と言われ、諦めたことはありませんか。それは他人の評価で、結果ではありません。やる前から諦めてしまえば不可能のままですが、とにかくやってみれば、結果として夢が叶うかもしれません。

大人になっても夢を見ることができ、そして子どもたちに夢を与えられる大人になれるよう、一緒に未来をつくりあげていきましよう。

二十歳の集い実行委員の皆さん

左の写真より、右から順に井山鈴菜さん、副委員長の安部克海さん、委員長の山本勝馬さん、高橋侑矢さん、副委員長の坂本帆乃香さん。当日欠席となった松本孝史さんをあわせた6人が主体となり、式典の半年前から準備を進めてきました。

その他、社会教育委員やNPO法人、ボランティア団体など、多くの方が実行委員として協力。当事者である二十歳の委員が中心となってやりたいことができるよう、見守りながらサポートしました。



記念品



今回の記念品はタンブラー。「いつでも二十歳の集いでの出来事や安来での思い出を身近に感じてもらえるように、長く使ってもらえるように」という実行委員の思いから選ばれました。

ここが見所！ 令和5年二十歳の集い



02 クイズ

2002年に関するクイズや安来に関するクイズなどの出題に会場全体で盛り上がりました。中学校対抗戦で安来第二中学校が優勝しました。

スライドショーと サプライズ

学生時代の写真のスライドショーと先生からのビデオメッセージに、友人同士で当時を懐かしむ声が聞こえました。吉岡太先生（当時安来第一中学校勤務）と渡部洋子先生（当時伯太中学校勤務）のサプライズでの登場には歓声が響きました。



田中市長からのメッセージ (式辞より一部抜粋)

二十歳の皆さんには、限らない可能性が広がっています。次のことを心に留めて新しい時代を切り開いていってください。

まずは、皆さんを深い愛情を注いで育ててくださったご家族や、支えてくれている友人、知人、そして地域の人たちへ、感謝の気持ちを持ち続けてください。

次に、夢や目標を持って、自分を信じて挑戦し続けていただきたいと思えます。皆さんはまだ若く、これから先、失敗して落ち込むことがあるかもしれませんが、多くの体験が、後々、自分の大きな力につながると思います。前に進む力を身につけ、さらに成長されることを切に願っています。

最後に、皆さんが生まれ育った、あるいは縁のあるこの安来市に想いをもち続けていただきたいと思えます。本市のさまざまな取り組みに関心を持っていただき、できることからで良いので、「次の世代につなげる安来市づくり」に参加してもらえ、ことを期待しています。

皆さんが、自分らしく夢や希望に向かって歩まれることを、心からお祈り申し上げます。

令和5年1月3日

安来市長 田中 武夫

